

れんごう中越地協

第1090号2021.11.1
連合中越地域協議会
長岡市愛宕3-7-24
TEL 0258-86-0111
FAX 0258-86-0884
発行人 矢島 良彦
定価 1部10円
購読料は会費を含む



中越地協、農業 食料 環境問題を学ぶ

収穫の秋、ソバ刈取りに汗流す



連合中越地協やこくみん共済coop中越支所等で構成する農業・食料・環境問題を学ぶ中越地区実行委員会の「ソバの刈取り体験」が、10月10日(日)見附市葛巻地区で行われた。

このソバの事業は5年目を迎えるが、協力をいただいた方々の事情などで今年が最後。この日は晴天に恵まれたほか、蕎麦もピンと立っている。蕎麦会

の方曰く「今年は、蕎麦にとって台風も来ず、天候等の自然条件が最高で、実付きも良く近年にない出来となった」とのこと。

総合進行役は番場副実行委員長(連合中越国民市民担当副議長)。開催にあたり板倉副実行委員長(こくみん共済coop中越支所長)の挨拶では「種まきから刈取りと天候に恵まれた。今日は、暑いが休憩を取りながら刈りに挑戦しよう。鎌で怪我の無いように楽しい思い出にしてほしい」と旨を述べた。次に、協力団体の見附蕎麦同好会の上田さんは「とにかく、怪我をしないように。子どもさんは、親と一緒に一畝毎に刈ってほしい。10日後には、『新そば』となるよう頑張りたい」と挨拶。

まずは、そば畑で集合写真。その後は、蕎麦会の方の指導を受けて、

けながら、全員が鎌で手に、ソバの畑に入っ刈り取り作業が始まった。

ソバは例年になく倒れたり絡み合ったりもせず、ピンとしており取り、シートの上におかれ、その後は束ねてはさみかけられていく。見附織労OBも多く関わっていることから、束ねる紐はリサイクル布。小さな子供たちも、ぶかぶかの手袋姿で一生命に作業。中には、トンボを捕まえるようにと駆け回る子もいる。

40分程経過して休憩。水分を補給して再び刈り取り作業。昨年は90分で刈り終えたが、今年はソバの出来が良く、三分の一ほどを残して終了。

次は「バケツそばコンテスト」。7月31日にまいて2カ月以上育てた「バケツそば」が、39個中13個揃った。

立派なもの、ほぼ枯れているもの等様々で、育てた様子がかがえる。

刈り取り作業を終えた参加者は葛巻公民館に移動。持参したおにぎりや豚汁で収穫の喜びを分かち合った。

「天気も良く、コロナ禍でも家族が集まれる。次年度の活動に是非参加してほしい」と述べ閉会した。

SJネット委員会
サツマイモを収穫

連合中越SJネット委員会は、9月23日に続いて10月3日(水)にサツマイモを全収穫した。翌週の9日には人参を全収穫。これでは2年目の農園事業は終了した。

収穫したサツマイモや人参は、フードバンクなどにおか等に寄付されるほか、連合中越第31回定期総会で販売

「天気も良く、コロナ禍でも家族が集まれる。次年度の活動に是非参加してほしい」と述べ閉会した。

SJネット委員会
サツマイモを収穫

連合中越SJネット委員会は、9月23日に続いて10月3日(水)にサツマイモを全収穫した。翌週の9日には人参を全収穫。これでは2年目の農園事業は終了した。

収穫したサツマイモや人参は、フードバンクなどにおか等に寄付されるほか、連合中越第31回定期総会で販売

形は石の様なものから程良いものまである。SJネットの労力の結晶をご賞味あれ。

ジョニー・デップ主演の映画「MINAMATA」涙々で感動しました。でも何に感動したのか分からないのです。加害企業をやっつける水俣病被害者の闘う姿に感動した、胎児性水俣病被害者のかわいそうな姿に涙した、わけではなさそうです。でも何かを伝えなければと思わせる力がありました。

▼1968年9月水俣病の原因が工場排水だという政府見解が出されますが、その一月前に行われた「恥宣言」、加害企業チソの労働組合の大会決議で発せられたものです。「闘いは企業内だけで成り立たないこと、全国の労働者と共にあり、市民と共にあること、同時に闘いと自らの肩で支えるものであることを教えたい。その私たちがなぜ水俣病と闘いえなかったのか？ 闘いとは何かを身体で知った私たちが、今まで水俣病

と闘い得なかったことは、正に人間として、労働者として恥しいことであり、心から反省しなければならぬ。」(一部抜粋)として水俣病の公式確認からこまごまの間に、労働組合として企業に責任を追及しなかったことを「恥」とし、その後は、組合として水俣病に取り組み姿勢を明確に宣言したものでした。その一方で、闘いの中で「狂いに狂って」考え抜いた末「チソはもう一人のわたしであった」という思いに至った緒方正人さんという被害者の方もいます。

▼水俣病はまだ終わっていないと言われますが、一つには「今も苦しんでいる人がいる」ということ、そして現代を生きる私たちがとって、この問題には多くのことを学ぶことができ「叡智」があって、学び続けなければならないということだと思います。

サラリーマン川柳 (パンプキン 英語で言うな

かぼちゃだろ)

(小遣いの ダウンで落ちた

体脂肪) (ハードルが

年々上がる 縁相場)

(近づけば 受給年齢

逃げてゆく)

サラリーマン川柳 (「飯いる?」「いる」の返事で妻不機嫌) (ダイエット 秋の味覚で挫折する) (新人に敬語で仕事頼みます) (初診料 俺より高い 我が愛犬)

連合中越加盟単組紹介

—JAM新潟・第一測範労働組合—



10月に執行部の体制が新しくなりましたが、未だコロナ禍ということで厳しい船出となりました。

これまで所属団体の行事が縮小、中止となる中、当組合においてもレクリエーション関係は中止せざるをえませんでした。新規組合員にとっては顔もわからないような状況にあると思いますので組合員との親睦を図り意識の向上や活性化に向けた活動を行っていきたく思います。

また今年には組合発足60周年の節目でもあり、本来であれば盛大なお祝いをしたところですが、この状況では従来のようなことは難しいと思われませんが、記憶に残るものにしたいと考えています。

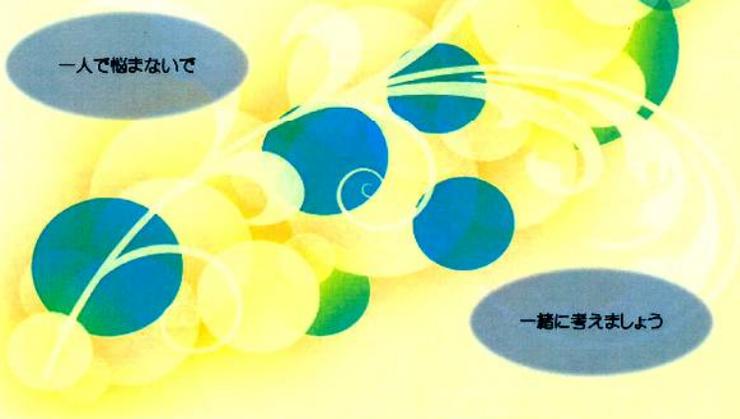
また今年には組合発足60周年の節目でもあり、本来であれば盛大なお祝いをしたところですが、この状況では従来のようなことは難しいと思われませんが、記憶に残るものにしたいと考えています。

また今年には組合発足60周年の節目でもあり、本来であれば盛大なお祝いをしたところですが、この状況では従来のようなことは難しいと思われませんが、記憶に残るものにしたいと考えています。



あなたの“これから”を応援します

ステップシェルター・～ゆかり



一人で悩まないで

一緒に考えましょう

DV や虐待などの暴力は、被害者の力を奪う人権侵害です。まずは暴力から離れて安心できる安全な場所が必要です。「ステップシェルター・ゆかり」は居場所のない女性と子どもが、次のステップに向けて準備をするためのシェルターです。

お問合せ

NPO 法人女のスペース・ながおか 0258-38-0456

受付時間 月～金曜日 10時～16時30分 水曜日のみ19時まで (祝日、年末年始は休み)

《利用料はご相談ください》

改訂版

労働・生活 なんでも相談
一般社団法人新潟県労働者福祉協議会

ひとりで悩んでいませんか?

新潟県ライフサポートセンター

相談無料、秘密厳守

ひとりで悩まず、お気軽にご相談ください

〒940-0036 長岡市愛宕3丁目7-24

(0258) 86-8898

受付時間 平日 10:00~16:00

メールでの相談も受付けています
(希望受診希望をされている方は下記アドレスを登録ください)
アドレス nagaoka-lso@galaxy.ocn.ne.jp

新潟県LSCホームページ
<http://www.nagaoka-lsc.jp/>

人間関係・心
・職場の人間関係で悩んでいる
・コミュニケーションが苦手な相手がいらない
・発達障害ではないかと疑っている
・生きるのがイヤになった、死にたい...

労働相談
・残業代をもらえず有給休暇も無いと言われた
・突然明日から会社に来なくていいと言われた
・セクハラ、パワハラされた、辞めさせてくれない
・労働組合を作りたいがどうすればいいだろうか

家庭相談
・離婚を考えているが決断できない
・養育費(結婚費用)を払ってもらえない
・息子(娘)夫婦の仲が悪く係がかわいそう
・子供が引きこもっている

消費生活相談
・多重債務があり生活が苦しい
・近所とのトラブルで困っている
・貸したお金を返してくれない
・所持金が無く食べ物がない

相続相談
・相続で兄弟と揉めている
・他界した親の不動産を相続したいのだが...
・生前贈与について知りたい
・遺言書の内容に納得がいけない

離婚
生活苦
病気
退職
パワハラ
セクハラ

悩んでいる問題には様々なことが複雑に絡み合っています。職場での問題がストレスとなり、家族や伴侶とのぶつかりに...それが離婚や健康問題につながってたりします。

離婚手続、遺産相続、社会保険...もっと知っていれば...

一人で悩むのではなく、一緒に解決方法を考えてみませんか

2021年10月より「ながおかライフサポートセンター」は「新潟県ライフサポートセンター」に組織名が変わりました。相談対応に変更はありませんので引き続きよろしくお願ひいたします。

お知らせ

新潟県ライフサポートセンター事業Q & A

「Life Support Center」の頭文字を取り、通称「新潟県LSC」です

Q. 「新潟県ライフサポートセンター」は誰が運営しているの?

A. 働く者の福祉活動を支援している一般社団法人新潟県労働者福祉協議会(県労福祉)が事業の一つとして運営しています。県労福祉には働く者の福祉を推進する連合新潟、労働金庫、こくみん共済coop、フードバンク、退職者連合などが参加しています。

Q. どんなシステムで「糸口」は見つかるの?

A. まず、新潟県ライフサポートセンターへお電話下さい。相談内容によって対応は様々です。一緒に解決の「糸口」を見つけましょう。

アクセス

相談を希望の方は、お電話で予約を取られてからお越しください(駐車場有り)

新潟県ライフサポートセンター TEL 86-8898

場所 長岡市愛宕3丁目7-24
開所日 毎週月～金曜日(土日祝日は休み)
時間 10:00～16:00



Q. 子供が就労できずに困っているのですが...

A. 15歳から49歳までの「働きたい!」を応援する長岡地域若者サポートステーション(サポステ)があります。相談支援、就活セミナー、ボランティア活動、コミュニケーショントレーニング、企業内等での職場見学、職場実習を実施し行政やハローワーク等と連携を取りながら、ひとりひとりに適した就職をお手伝いします。また家族からの相談にも応じます。新潟県ライフサポートセンターもしくは下記にご連絡下さい。

●長岡地域若者サポートステーション

受付時間/月～金曜日 10:00～17:00

☎0258-86-7730 Fax0258-86-7731

〒940-0033 長岡市今朝口1-10-12 2F



発行版 新潟県LSC 2021/10版